

築山小学校特別対談（後編）

広報紙『つきやま』の企画で、学校代表・芦村校長と保護者代表・山部PTA会長が対談を行いました。広報紙掲載分に続く後編を、HPに掲載します。

（平成二十九年五月十一日実施）

挑戦が視野を広げていく。

校長 児童に期待することですが、子どもたちは勉強のこと、学校生活、あるいは学校外の過ごし方と、一年生から六年生まで経験を重ねながら、色々な事を学んでいきます。それを自分の中で確かなものにしてほしいですね。「これが私だ」と言える人間を育てていく為にあるのが、学校だと考えています。小中高校と、様々な友達と付き合って、自分の考え方や物の見方の幅を広げて頂きたい。おそらく、これから先の社会で求められるのは、そういう視野を持った人だと思います。この先は予測のできない世の中になっ

ていくと言われていきます。その中でどんな場面でも対応し、自分で乗り越えられる力を身に付けてほしいのです。

会長 社会に出て幅広い視野を持つ為には、色々なことに挑戦することが大事です。自分はやってもできないだろうと殻に閉じこもるのではなく、どんどんやったことが無いことに挑戦してみる。そして、その中で一番自分に合ったものを見つけていく。

小学校、中学校くらいまでは、色々なことに挑戦してくればよいと思います。

子どもに精一杯の信頼と愛情を。

校長 保護者の皆様なのですが、自分も親として思いますし、どの保護者も当たり前だと思えますが、我が子が一番です。その気持ちが無いと、子育てはできないと思います。それぞれのお子様を精一杯信頼して、また期待をして、愛情を持って育てていただければそれで十分だと思います。

我が子には「信頼はしている、でも信用は

していない」ということをよく言います。子どもを信頼はしていますが、でも人間だから間違うこともあります。一〇〇%成功するという信用はできなくても、我が子だったら大丈夫という信頼は持っています。「人として間違わない為には、お前自身が心を自分で育てなんよ」と我が子にはよく言います。

そのような目線で子どもを見ていけばよいのかなと、親として思います。

会長 校長先生がおっしゃられた通り、自分のお子様は愛情を持って育ててほしいですね。とにかく一番は、子どもたちが笑顔でいてくれることです。

PTAでは、保護者が学校に足を運び、お子様と一緒に楽しむイベントを実施しています。子どもが通う学校のイベントに少しでも参加してもらえれば、そこで感じられることがあると思います。

皆さまお忙しいと思いますが、積極的にイベントに参加して、ぜひお子様との絆を深めてください。